



特別支援教育のセンター的機能のご活用を

～一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実に向けて～

秋田県立横手支援学校 校長 清水 潤



4月に着任しました清水と申します。日頃より、本校の取組に対し、ご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。今年度は、小学部から高等部まで児童生徒95名、教職員83名でスタートしたところです。また、担当者が年度初めのご挨拶として、各校を訪問させていただいた際には、丁寧なご対応をいただき、ありがとうございました。

さて、本校は、地域における特別支援教育のセンター的機能を有する学校として、平成14年度に担当分掌を設置し、20年以上取り組んで参りました。設置当時は、特殊教育から特別支援教育に転換する時期であり、平成15年度に南教育事務所に専門家・支援チーム（現在の小・中学校等特別支援チーム）が設置、平成16年度に特別支援教育担当指導主事が配置された頃でもあります。なお、朝倉小学校内に設置された特殊教育地域センター（現在の特別支援教育地域センター）の歴史は古く、昭和60年度からスタートしています。

この3月に、秋田県教育委員会から「秋田県特別支援教育校内支援体制ガイドライン（四訂版）」が発行されました。各学校（園）における校（園）内支援体制の状況はいかがでしょうか。特別支援教育の基本となる考え方「一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実」に向けて、取組が進められていることと思います。

本校では、特別支援教育のセンター的機能として、「教育相談」「教育活動支援」「理解推進」「情報提供」「体験学習」などを行っており、近年は、障害理解のための「出前授業」が特徴的な取組の一つになっています。また、県南地区の「高等学校特別支援チーム」の事務局も担っております。

一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実に向けて、各学校（園）のニーズに応じた取組ができるよう努めて参りますので、特別支援教育のセンター的機能をご理解・ご活用いただきますよう、今年度もよろしくお願いたします。



横手支援学校の「センター的機能」をご活用ください

こんな疑問や要望はありませんか？

自立活動って？

特別支援学校を
見学したい

教室環境をどう
整えればいい？

今の支援で
いいのかな？

子どもの行動を
見てほしい

職員研修をやりたい

個別の教育支援計画・個別の指導計画
の書き方や活用の仕方は？

先生方が日々感じている疑問や悩み、要望について一緒に考え、お手伝いします。

教育活動支援

- 特別支援教育に関する校内研修会や PTA 等での親子学習会への協力
- 気になるお子さんへの対応についてのケース会
- 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成と活用についての情報提供
- 特別支援学級担任及び特別支援教育コーディネーター対象の個別相談

情報提供

- 特別支援学級への特別支援学校における自立活動や職業教育の情報提供
- 障害理解のパネルの貸し出し、特別支援教育に関する書籍や教材等の紹介
- 卒業後の進路（就労先）や援護制度等についての情報提供

理解推進

- 障害理解のための出前授業の実施
- 学校間交流、居住地校交流
- 障害者スポーツ（ボッチャ等）による交流

体験学習

- 特別支援学級の児童生徒の体験学習の受入れ

教育相談

- 学校見学、就学や進学、転入学についての相談

*希望される場合は、本校教頭へご連絡ください。
こちらから訪問するだけでなく、本校へお越し
ただいで相談することもできます。

～ 相談・見学等の希望がありましたら、ご連絡ください ～



秋 田 県 立 横 手 支 援 学 校

〒013-0064 横手市赤坂字仁坂105番地1

TEL 0182-33-4166 (小・中学部)

0182-33-4167 (高等部)

FAX 0182-33-4266 (小・中学部)

0182-33-4277 (高等部)

<相談窓口> 教頭：稲川 一男 (小・中学部)

教頭：高橋 和恵 (高等部)

<対 応> 教育専門監：菅原 咲希子

地域支援部主任：土田 優子

地域支援部：佐藤 恵・内藤 稚子・柴田 怜子・小棚木 明子

特別支援教育アドバイザー：高橋 成浩 (横手市立朝倉小学校勤務)

*派遣依頼文書の様式は横手支援学校ホームページ (www.yokote-s.akita-pref.ed.jp) からダウンロードできます。